

ああすで笑顔

わたしたちは
愛と元気をとどけます



特定非営利活動法人地域福祉会ああす
創立20周年記念誌
2020年12月発行



わたしたちは 愛と元気をとどけます



目次

ごあいさつ②

お祝いの言葉③

ああす 20 年のあゆみ⑦

創立 20 周年によせて

利用者様の声⑫

共に働く仲間の声⑭

<資料>

事業の推移⑳

事業所案内㉑

ああすの足跡 (2010 年～)㉒

編集後記



ごあいさつ

特定非営利活動法人 地域福祉会ああす
理事長 細谷 禮三

2020年は新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、11月末現在世界で6390万人以上が感染し148万人以上が死亡、日本でも14万人以上が感染、2100人以上が死亡するという事態に至っています。新型コロナウイルスの出現は、国のあり方・社会環境の脆弱さを浮き彫りにし、医療や介護の世界はもちろんのこと、貧困格差の問題、地球環境の問題にまで広がり、社会のあり方を根本から問い直すほどの機会ともなっています。

このような年、NPO法人地域福祉会ああすは創立20周年を迎えることになりました。介護保険の創設と同時に開始した私たちの事業は、手探りの状態から、不十分さを残しながらも「より質の高い」介護サービス提供を追求するところまで前進してきました。

創立以来、未熟な私たちを陰ひなたなく、ご指導ご援助いただいた神戸健康共和会を初めとする関係法人の皆様、思いを同じくする地域の介護事業所、福祉関係者の皆様のおかげでここまで成長することが出来たものと、心より感謝申し上げます。

また、介護員不足や介護報酬の低さなど厳しい環境にありながら、「利用者に寄りそう」事を貫き、日々努力を重ねて来られた諸先輩、役職員の皆様にも敬意と感謝の意を表します。

2025年には人口の30%が65才以上となる超高齢社会が到来すると言われています。3人に1人が高齢者・介護保険利用対象者となる訳です。もちろん全ての高齢者が介護保険を利用するわけではありませんが、今後介護の需要が減少することはないと思えます。介護を必要とされる方々の暮らしを支えるための一員として、一層努力をしていきたいと思えます。

2025年には33万人が不足すると予想される介護員不足と低介護報酬のもとでの事業運営を考えると、このままの状態では不安材料も少なくありませんが、介護保険が本来目指した「介護を社会で支える」という理念を実現するために、より「質の高い」介護サービスが提供出来るよう研鑽に励み、介護保険制度の充実をはかるための運動にも取り組みながら、障がいがあっても、寝たきりになっても、その人が尊厳を持って住み慣れた街で、住み慣れた家で安心して暮らしていけるよう、地域の諸団体・個人の皆様と手を携えて、頑張っていきたいと思っています。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。





20周年おめでとうございます

新しい展開を共同の力で



特定医療法人神戸健康共和会
理事長 藤末 衛

地域福祉会ああす20周年おめでとう

あっと言う間の20年ですね。デイもショートも断られたり、馴染めなかつたりの一
人暮らし、家族の支援も得られない認知症の頑固者さんたち、何人も思い出しますね。
「困った時のああす頼み」、これが私や神戸健康共和会院所が長らく在宅医療に携わる
中での実感です。孤立や貧困が地域に静かに広がる中、「少々無理があってもなんとか
する」ことをスピリッツとして活動してこられました。本当にご苦労様でした。在宅ケ
アにおける訪問介護は、その人がその人らしくそこに住み続けるために必要な日常で
あり、まさにエッセンシャル・ワーク（人の生活に必須の仕事）です。今日のコロナ禍
により自粛生活が半ば強制される中、訪問介護の重要性は増し、利用者の命綱ともなっ
ています。

介護保険制度も発足20年となりました。年々需要は増えるものの、使いづらさが目
立ちます。財政節約のために家事支援を縮小するなど、健康で文化的な生活の保障を
定めた憲法25条違反であり、介護労働者の心を折るようなやり方と言わざるをえませ
ん。利用しづらくなる一方で、保険料も利用料も上がるでは、利用者も不安が増えるば
かりです。国民、利用者の負担を極力増やさず、介護労働の価値を正當に評価するよう
国に求めてゆかねばなりません。そのことが心身の状態に困難を抱える人の尊厳を守る
こととなるのです。制度を充実させる運動を共に進めて行きましょう。

さて、今後の10年を考えてみましょう。訪問介護を大切にすることは王道ですから
変わることはないと思いますが、少し幅を広げた展開を考えるのはどうでしょうか。住
まいや泊まり機能への展開を私たちと共同ですすめることも次の一手かもしれません。

人手不足を新しい展開で切り開く、そんな 10 年を話し合えれば幸いです。

30 周年に向けて新たな第一歩を



東神戸医療互助組合
理事長 漁島 國弘

地域福祉会ああす創立 20 周年本当におめでとうございます。

貴会の「住み慣れた地域でいつまでも安心して住み続けたい」のスローガンは、介護・福祉理念にピッタリですね。熱い思いが伝わってきます。

私たちの東神戸医療互助組合も「一人ぼっちの組合員をなくし、安心して住み続けられるまちづくり」を掲げ、やりがいと楽しさを感じる互助組合活動を多くの仲間と取り組んでおります。

「使命と事業」更に理念が貴会と重なり合っていますね。ですから、毎月の互助組合の理事会では「ああす」からの報告を頂き共有し合っています。

一人ぼっちの組合員をつくらないための活動で「居場所」づくりへの期待が益々高まっています。現在 7ヶ所となっていますが、喫茶・食事会・囲碁・将棋・カラオケ・絵手紙・脳いきいきクラブなど多彩な取組の中、参加される方々の明るい笑顔が絶えません。

互助組合員の中でも「ああす」の事業所を利用されている方も多く、訪問介護サービスを受け、安心した生活を送られています。「ありがとう！ありがとう！」と心からの感謝の声が届けられています。

貴会の事業の柱の中に、安全で健康なまちづくりや保健・福祉・医療の増進が謳われており、これまた共通した運動・活動です。

今後は、介護保険から外れた人々の対応で連携した取り組みが求められます。一方、取りまく状況は厳しい状況が続いておりますが、必ず「理念と使命」が活かされる社会状況はつくり出されることでしょう。

平和を守り、暮らしを守るためにも「安倍政治」の幕を降ろさなければなりません。新しい会館を砦として 30 周年に向けて新たな 1 歩を踏み出しましょう。連帯の拍手を送ります。



住み慣れた街で、その人らしく 安心して暮らしていけるよう



株式会社神戸医薬研究所
代表取締役 山口 扶左子

創立 20 周年おめでとうございます。

介護保険制度施行と同時に発足された「地域福祉会ああす」は、まさに闘いと対応の 20 年を送ってられてこられたのだと改めてその活動に敬意を表します。

私たち薬剤師は医師の指示のもと、正しく安全にお薬を服用していただくため在宅療養されている患者様宅などを訪問しています。独居や認知症の患者様の場合、ヘルパーさんからの情報は欠かせません。何時、どのような形で服薬してもらうのがベストか？服薬を見守る中で困っていることはないか？など連携をとりながら薬物治療をサポートしていただいています。数ある事業所のなかでも、「ああすさん」と聞くと安心するのは単に身内だからというだけではなく、常に利用者様に寄り添い本当に親身に対応されているからだと思います。

超高齢者社会が加速度的に進む中、介護が果たす役割はもっともっと多岐にわたっていくと考えられます。住み慣れた街で、その人らしく安心して暮らしていけるよう、「地域福祉会ああす」「神戸健康共和会」「東神戸医療互助組合」「神戸医薬研究所」の 4 者で力をあわせて頑張っていきましょう。「地域福祉会 ああす」の益々のご発展を祈念いたします。



日本一の介護の事業所をめざそう



特定非営利活動法人認知症予防ネット神戸
理事長 伊藤 米美

NPO法人地域福祉会あぁす創立 20 周年を迎えられるにあたり、心からお祝い申し上げます。

私は、平成 15 年 5 月神戸健康共和会から出向し介護部長として約 6 年間、共に事業に参加させていただきました。

初めて介護の分野に足を踏み入れ戸惑う事もありましたが、貴重な経験もさせていただきました。

ヘルパー体制づくりでは、ヘルパー養成講座にも関わり卒業生を多数迎え入れることができました。ステーション毎に学習会も開始し介護の基本を学びながら、「どのような介護を目指すのか」、「日本一の介護の事業所を目差そう」等と本気で「夢と妄想」を膨らませた事も楽しかった思い出です。

また、介護福祉士の資格試験の勉強会も開始、専門外の頼りない講師ではありましたが、テキストをもとに月 1 回学習会を行い、多くの介護福祉士が誕生いたしました。

最高齢の受験者は当時 72 歳の西堀さん、試験当日、奥様から渡されたお守りを持って受験に挑み見事合格された事は今でも懐かしい思い出です。ヘルパー体制が強化された事はすべてのご依頼にお応えする事業所活動に繋がりました。

最後に、私はあぁすでの認知症の人との関わりの中で「早期発見と予防の重要性」を学ぶ機会をいただき現在の認知症予防ネット神戸の活動に繋がりました。

今後も協働して、高齢者の人が安心して暮し続けられる町づくりのために頑張っていきたいと思います。



20年のあゆみ～あれから10年～

はじめに

1999年9月に産声をあげた地域福祉会ああすは早20周年を迎えました。「介護を社会で支える」ことを主目的に発足した介護保険制度と共に歩んだ20年。この間、介護保険制度も保険料の引き上げ、自己負担の引き上げ、介護度による利用制限など、他の社会保障制度と同じく自助→互助→共助→公助の流れが持ち込まれ、大きく様変わりしようとしています。

20周年の節目の年にあたり、様々な変化に翻弄されながらも利用者に寄り添い「その人らしく尊厳を持って暮らせる」事を支える地域福祉会ああすの活動の概略を10周年記念誌から引き継ぐ形でまとめる事にしました。

☆創設から10年の概略

創設から10年のあゆみは記念誌「今日もきてくれてありがとう」に詳しく述べられていますので、ここでは概略を記しておきたいと思います。

「介護保険制度」の施行を目前にした、1999年9月に神戸健康共和会、東神戸医療互助組合、神戸医薬研究所の絶大な援助のもとに地域福祉会ああすが誕生しました。

「虚弱や寝たきりおよび疾病などにより、社会的援助の必要な高齢者及び障害者等に、家事援助、介護などに関する福祉サービスを行い、それらを通じ人間らしく生きる権利を守り、地域福祉の増進に寄与するとともに、人権擁護の立場から安全で健康なまちづくりと平和を推進していくこと」を事業目的に据え発足しました。



訪問介護事業、居宅介護支援事業、移送サービス事業の3つの事業から出発しましたが介護の経験者も少なく走りながら考え、考えながら走るといった状況でした。「利用者に寄り添い暮らしを支える」私たちの事業は地域からの期待も高まり、2003年にはサテライトの形態ながら7ヶ所のヘルパーステーションを設置し地域に根ざした活動が展開されました。

その後、サテライトでの事業展開が否定され2007年に法に基づき、ヘルパーステー

ションああす、ヘルパーステーションああす灘・中央、ヘルパーステーションああす生田北の3事業所を開設し訪問介護事業を再出発させました。また、福祉用具貸与事業、任意後見人事業なども立ち上げ、地域の要求に応える事業が展開されていきます。

前述したとおり未経験者を多く抱えながらの事業運営の中、学習会や研修会の取り組みも強化し、職員の力量アップ、スキルアップをはかってきました。介護福祉士資格の



取得をめざす受験講座にも力を注ぎ、多くの資格習得者を輩出してきたことは、今日の私たちの事業運営にも大いに貢献するところとなっています。また、発足当初から実施してきたヘルパー養成講座（神戸健康共和会主催）は14年21期に渡って450人以上の介護員を養成し、多くの修了生を地域福祉会ああすに迎えることができ、事業発展の基礎が築かれました。

一方で苦い経験もするもありました。2008年に生活保護課の監査を受け、利用者ファイルの保管義務の誤りが指摘され、一時は「事業の取消」も覚悟することになりました。神戸健康共和会の協力も得て「利用者を守る」「事業を守る」を合い言葉に、「ファイルは廃棄したが事業実績がある」と、残されたファイルや連絡帳、活動記録の収集、神戸市との交渉など、利用者、家族と共に法人全体のとりくみで、わずかな返金で難を逃れることになりました。この経験から法令遵守の活動も一層強化されていくことになります。



これらの活動を記念する10周年記念レセプションが2010年6月に、来賓11名を含め110名の参加で盛大に開催され、介護関係者、関連法人、利用者家族との連携を深く感じる事が出来ました。



～あれから10年～

☆利用者様に寄り添って



病気や怪我によって自立した生活が困難になった方、虚弱体質などにより社会的な援助が必要な高齢者や障がい者が、住み慣れた街・家でその人らしく尊厳を持って生活できることを支えるサポート役として活動を進めてきました。

利用者様には病気や怪我、障がいの重さ、経済状況、家族環境など様々な困難を抱えた方々がおられます。私たちは、利用者の抱える困難を行政・民生委員・他の事業所などとの連携で解決するよう努力を

重ねてきました。「家でお風呂に入りたい」との利用者の希望を叶えようと、住環境の整備・福祉用具の活用・2人体制の介護など工夫と努力の中で20年ぶりに「自宅で入浴」していただいた事例などが生まれています。



また、個々の困難事例を事業所の財産にとどめず、地域福祉会あす全体のものとするために事例検討会を開催し、取り組みや情報の共有も行っています。

介護保険制度の改悪によって利用制限が進められるもとの、「老計10号」の再学習を強めサービス内容の変更なども提案し、利用者にとって最高のサービスを提供するために奮闘してきました。

介護の「質の向上」をめざして「介護の基本」「疾病の理解」「介護の実技研修」「法令遵守」などの全体学習会を毎月のように開催してきました。当初は職員の半数程度の参加者でしたが、最近では全員が参加する学習会となっています。学習のとりくみは全体学習会にとどまらず、職責者を中心に各事業所での取り組みへと発展してきています。利用者アンケートにも取り組み利用者からの評価や要望に応える努力も積み重ねています。

外出困難な利用者様のために、春の花見、ルミナリエ観賞、観梅などにとりくみ利用者様はもちろんのこと家族からも大変喜ばれています。高齢者の居場所「やえちゃんち」もアットホームな居場所として5年を越えとりくみとなっています。



☆統廃合を余儀なくされた事業所展開



この10年間は事業所の統廃合を繰り返した期間と言えます。サテライト型でスタートした事業所は2010年には5訪問介護ステーション、2居宅支援事業所、1移送事業所の8事業所を構え、神戸健康共和会の事業所とも連携し、地域に密着した事業展開を行ってきました。その後移送事業が2011年に利用者の減少や道路運送法の改定により許可要件が厳しくなったことから廃止することになりました。訪問介護事業所も2016年にこうなんとすみよしの統合、2018年には中央と

生田北の統合、2020年にはこうなんと灘の統合を行い、現在2訪問介護ステーション、1居宅介護支援事業所となっています。主な原因は職員の不足と後継者不足、介護報酬の低さから事業所運営が困難となった事です。

居宅介護支援事業も統廃合の訪問介護事業と同様に2016年に4事業所に前進しましたが現在は1事業所に統廃合されました。但し介護支援専門員は8人体制と強化され、地域からの信頼も高まり、2016年度月平均168件から2020年度月平均



221 件に伸び利用者様に寄り添ったケアプラン作成に取り組んでいます。

地域貢献に関する事業では高齢者の居場所「やえちゃんち」が 2015 年に発足し、新型コロナウイルス禍の時期を除いて毎週（木曜）開催が継続されています。ルミナリエ観賞会は 1 事業所の取り組みとして出発しましたが、今では法人の取り組みとして発展しています。2019 年には「秋を食べよう会」も開かれ、日頃多人数での食事をとれない利用者様との会食を楽しみました。2020 年からは新事務所での「地域支援事業」が始まろうとしています。より地域に開かれた法人へと発展させるために力を尽くしましょう。

☆職員の育成と確保に全力



「より質の高い」介護サービスの提供を行うためには、職員の成長が欠かせません。創立当初から全体学習会、外部研修などに取り組むなど職員の育成に力を注ぎ多くの成果を上げてきました。介護福祉士資格取得も積極的に挑戦し、この間、退職者も含め 32 名が獲得しています。2015 年には「職員育成委員会」を発足させ、成長度に合わせた研修計画、到達の評価、待遇

改善への反映など、計画的な職員育成が始まり、大きな成果を上げてきています。専門職としての介護のあり方、利用者様に対する考え方、技術の向上と併せて、諸会議の準備、運営、まとめ。職員への伝達講習力量の向上など職責者の成長は目を見張るものがあります。引き続き各階層に対応した学習・研修の充実を図り、職員のさらなる成長と後継者育成に力を注ぐ事が重要です。

また、法人の役員体制強化や幹部職員の育成も事業の前進・発展にとって欠かせない重要な課題となっています。

全国的に介護職員の不足が慢性化し、事業の存続が危惧される状況にあります。前述したとおり私たちの法人でも介護職員の確保は困難を極めています。

2010 年以降 97 人の介護員の採用を行いました。退職者数が採用者数を大きく上回り、2010 年に 100 人の介護職員が訪問介護に携わっていましたが、2020 年 4 月には 61 人に減少しており、地域の介護要求に応えられない事態が起こっています。1999 年から 2013 年まで 14 年間（21 期）にわたって神戸健康共和会と協働して実施してきたヘルパー養成講座は 450 人を超える介護員を養成し、多くの修了生が地域福祉会あさすの事業にも参加してきました。2014 年度の制度改正や受講生の減少から中止せざるを得なくなり幕を閉じました。このことも職員の確保の困難さに拍車をかけました。



人財確保推進委員会を中心に対策を検討し、最近の介護職員募集は紹介業者も活用しながら取り組みを強めてはいますが、大きな成功に結びつく結果とはなっていません。

事業の継続発展のためにも抜本的な対策が求められます。

☆黒字をめざす経営活動



事業経営の基本は介護報酬にあります。介護保険発足後6回の報酬改定がありましたが、2009年（+3.0%）と2018年（+0.54%）の2回のみが引き上げで、あとの4回がマイナス改定となっており、各種加算制度の導入を考慮しても、都合マイナス4.4%の引き下げとなっています。このことが結果的に経営困難を招いている主要な要因と言えます。

地域福祉会ああすでは、利用者様の負担に直結する問題点もありますが、より質の高い介護サービスの提供を行い利用者様の生活の質を高めることを担保として、特定事業所加算、特定処遇改善加算を積極的に取得し経営面でも努力を重ねてきました。

しかしながら、2010年度を含め4回の赤字決算を余儀なくされました。とりわけ2018年度・2019年度の2年連続赤字は、事業所の統廃合・移転に伴う費用の増大など特殊な事情があるにしても憂慮すべき事態と言えます。

厳しい経営状況下であっても職員の処遇の改善は4K（きつい・汚い・危険・給料安い）からの脱却をはかる上で大切な課題です。この間、正職員制度の創設・定期昇給、時給の改善などにも不十分ながら務めてきました。この姿勢を崩すことなく経営の黒字への転換をはかるための真剣な取り組みが必要となっています。



職員の減少、事業所の減少に伴う件数の減などマイナス要因は依然として存在しますが、経営の安定化をはかることが事業の前進・発展、職員の処遇改善に直結する課題として全役職員の智慧と力を集めて経営改善を成功させましょう。

☆地域福祉会ああすの魅力を発信

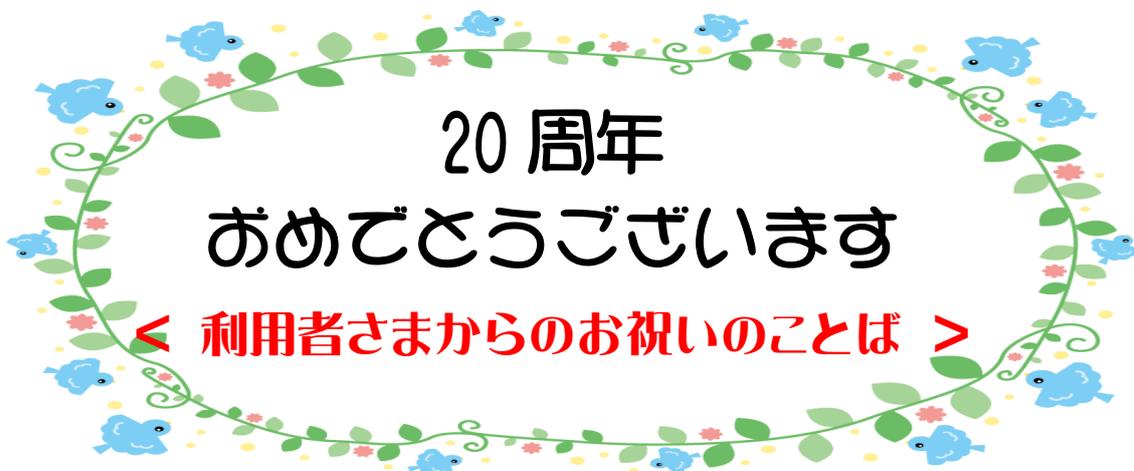


私たちの事業や活動を多くの市民に発信し、共感を広げることは地域福祉会ああすの今後の前進・発展、職員の確保にとっても欠かせないとりくみです。この間「ああす TIMES」は年4回の定期発行が行われています。職員や利用者に登場していただくなど、紙面の改善にもとりくみ「読みやすくなった」との評価が届けられるようになっていきます。

2019年には念願のホームページを開設し、地域福祉会ああすの魅力をより広く市民に発信できるようになってきました。介護を必要とする方やご家族の方々を励まし、ホームページを見たヘルパーさん達が「こんな職場で働きたい」と思っただけのような豊かな内容にするために、更なる努力と工



夫をすすめましょう。



ああす20周年おめでとうございませす

東灘区本山中町 筒井基二 様

今まで、年取った時の事はあんまり考えずに暮らしてきましたが、90歳を超えて家内を亡くし、一人暮らしになって、ああすをはじめ介護保険のお世話にならなければとても生きていけません。来ていただいているヘルパーさんは皆さん親切で優しく、特徴のある方々ですが、本当に来てくれるだけで励みになっています。

できれば、ああすもデイや老人ホームのような施設があって、この地域で一貫した介護ができればうれしいです。

家内が東神戸病院を退院後、老健を最後に亡くなりましたが、そこでは思うような介護をしていただけなかったのが心残りです。最後まで安心して暮らせるような、一貫した医療・介護のできる施設があるといいですね。

おかげさまで、皆様のご支援で県会議員を5期務めさせていただき、当時は議員年金もあるので安心して暮らせていますが、デイサービスに行くとお金に恵まれない方々の話しも多く耳にします。

東神戸病院は今度、医療と介護が結びついた「介護医療院」ができると聞きました、そこにも期待したいです。

皆さんが安心して暮らしていけるような介護システムの充実が早く望めますね。訪問のヘルパーさんは何より大変な中を、暑い日も寒い日も天気の悪い日も良くやってくれており、感謝に堪えません。ヘルパーさんの処遇の改善も強く望みます。本当にいつもありがとうございます。

私が必要とする所を援助していただいて

東灘区洞森台 日高沙知江 様

創立 20 周年を迎えられておめでとうございます。

視覚障害である私が介護保険のサービスも含めて利用させていただいてかれこれ十数年になります。これまで常々感じておりますことは、ああすのケアマネジャー様、所長様はじめヘルパーさん方、皆さんは私が何を必要としているかを良く理解して、親身に寄り添って下さり、ほぼ私が必要とする所を援助していただいていると思っております。本当に有り難い事だと感謝しています。お陰様で日々自分らしく生きていられることを喜びとして実感しております。

今後とも宜しく願いいたしたいと思えます。ご発展をお祈りしています。

安心して頼れる存在に感謝！！

中央区神若通 北田撰子 様
(利用者様・石井洋子 様)

母と私、ああすさんのおつきあいは、もうすぐ 6 年目を迎えます。初めは退院後、自宅に戻る迄、我が家で過ごす数か月のサポートを依頼したのですが、こんなに長くお世話になることに・・・(笑)

高次機能障害が判り、現在ケアホームで「なんちゃってひとり暮らし」を送っています。今迄、本当に色々あるどんな場面にも、ああすの皆さん方がいつも笑顔で居て下さいました。勿論今も！出来ることに日差のある母と慌てる私に、その都度的確に細やかに対応し、傍で寄りそうサポートを続けて下さる、安心して頼れる存在に感謝です!!





心に寄り添ったケアを

私が介護の世界に興味を持ったのは、大好きな父親の介護の経験をして、本人の病気の辛さを知り、介護する大変さも知りました。この経験を活かすると介護職に志望しました。父親は、入院中“家に帰りたい、とずっと言っていました。希望を叶えることもできず、要望にも応えることが出来なかった。

当時、介護保険制度を知っていたらと後悔します。父が亡くなり1人残る母親には、自分らしくわがままに自宅で快適に過ごして欲しいと願います。



ああすに就職して色々な方と出会いがありました。自分の家族みたいな関係で接してくれる先輩や上司。まずは本人の意向を尊重する、気持ちを理解するという事を教えられました。今後も利用者様の心に寄り添ったケアを実践していきたいと思えます。

次の30周年をさらなる高みをめざす戦士として組織の理念を共有するスタッフと共に戦います。

(介護支援専門員 成田伊智子)

コロナに負けるな！

今のこの大変な時期なので、コロナに負けるな！

・自分が感染しない ・利用者に感染させない、をモットーに生活、仕事していきたいと思えます。(訪問介護員 岡田佐多子)

正直で素直な気持ちで

居宅の仕事を介護法の制約の中で、利用者の必要に答え、質の高いものにしていくためには、利用者、家族、介護提供者にとって良いものにする必要があります。

その為には、それが必要なサービスを理解し、十分なコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていくことが土台になると思います。特に、サービス提供のはじめは、正直で率直な意思疎通や情報の共有が必要となります。又、介護者にとっても働きやすい環境であることも望みたいです。高齢者にとって、少しでも平安な想いをもっていただけるよう励みたいと思います。(訪問介護員 岡本玲子)



情熱的で心豊かな仲間

西の「社会福祉法人駒どり」から東の「NPO 法人ああす」に仲間入りさせて貰って5年弱になります。20年前は介護保険制度が始まった時で、あちこちで新しい事業所が生まれ、ヘルパー養成講座を開けば沢山の受講生が集まりました。

時代は変わり、現在の福祉現場は何処も人材不足で厳しい状況です。でも、ああすの仲間は皆さん情熱的で心豊かな面々揃い！これからも地域福祉を担う頼られる事業所として頑張っていきましょう。(介護副部長 沖本章子)

面接を受けて良かった

創立20周年おめでとうございます。

一歩前に出てあの時、立ち止まらずに面接を受けて良かった今です。(当時68才)アットホームな職場、話しやすい職員の方々の中で、仕事をさせていただき、利用者様との沢山の出会いで教えられることや、発見をしています。



利用者様との年齢差もあまりなく、帰るとき「また来週、お元気で」と声かけすると「あなたも元気で」と声がかえってくる(ありがとう)ゆっくりとラストスパークし、充実介護。(訪問介護員 佐藤博美)

自分らしく努力を

ああすに入職して3年目に入ります。周りの方々に恵まれ、ご指導頂き感謝しております。考えること、悩むこと、学ぶことの多い日々ですが、利用者様、家族様の立場に立ち、心に寄り添い、自分らしくこれからも努力してまいりたいと思っております。

(介護支援専門員 山根優子)

コロナ禍を乗り切って

ああすに入職して早1年が過ぎました。こんな大きな節目の時期に「コロナウイルス」が世界中で猛威を振るい大変なことになっていますが、私たち職員・非常勤・登録さん、利用者のみなさん全員誰1人欠けることなく、この状況を乗り切り、20周年を迎えられるよう、感染しない・させない様、しっかり予防し仕事を頑張りたいです。

(訪問介護員 糸原悠子)

会えて笑顔・顔と顔

介護の世界に飛び込んで14年、振り返ってみれば、もうこんなに遠くにきてしまったのか！そんな思いです。介護の現場の方達、介護を受けて下さる方々に、激励やら励ましをいただきながら頑張れたと思います。特に、「会えて笑顔・顔と顔」の通り、お互いが笑顔で接した時の充実感は、この仕事で味わうことの出来る唯一の心の支えでした。笑顔の先にお元気がある健康が許す限り喜んで頂ける方々に接していきたい。頑張れる自分にありがとう。（訪問介護員 仁部亮子）



私もお世話になりたい

20周年おめでとうございます。ご縁あってお仕事させて頂いています。ライフスタイルに合わせた働き方をさせて頂き感謝しています。職員の皆様の優しさ、明るさ、愛情一杯に利用者様方に接しておられ素敵です。私も年老いたらお世話になりたいです。

年に1回、ご自身では外出できない方々にルミナリエにご招待するイベントにボランティアで参加させて頂きました。参加者の皆様、ふだんよりテンション高く楽しめました。スタッフの皆様の優しさのおかげで楽しくお仕事させて頂きます。

（介護支援専門員 大平貴子）

利用者からの励ましが



ああすも20年 私も20年とまではいかないけれど長い付き合いになりました。その間、仲間や利用者様など人との出会い、別れと「ああす」にいればこそその経験。いい時、そうでもない時、いろいろあるだろうけど「夜の明けない朝はない」なんてことわざもあるので。

介護職は大変だけれども「来てくれることで元気になるよ」と利用者様からいわれると、いやいやこちらも逆に励ましていただき、もうそろそろ潮時かな？が じゃもう少し・・・。ああすでよかったの声をもっと聞きたいですもんね。

（副理事長 長谷川歩）

死の迎え方を真っ直ぐに

「その人らしく」は最後までヘルパーとして残したあげたいと思っていますが、現実にはなかなか難しいです。昨年来ターミナルケアに携われる機会を頂き「終の棲みか」をご自宅で迎えられた家族様への向きあい方、医療中心ではなく、穏やかな時間を選択。緊張感はありましたが、一番大事な死への迎え方を真っ直ぐ捉えることが出来たことが、私にとって貴重な大切な出会いでした。

未熟な私が出来たことなどわずかでしたが、これからも1つ1つを大切に積み重ねていきたいです。(訪問介護員 田中まさえ)

理想を手放さずに

20周年おめでとうございます。

ああすの理念「安心して住み続けられる街づくり」は、高齢者や障がい者だけでなく、誰でもが安心して住み続けることができる街づくりです。平和で社会保障が行き届いた社会であることが必要なのに、今の政治はどうも逆を目指しているようです。



ああすにも経営面や後継者など課題もたくさんあり、日々の生活にも追われがちですが、20年間私たちが地域で果たしてきた役割に確信を持ち、これからも理想を手放さず、前に進んでいきたいですね。ああすは地域になくってはならない福祉の拠り所であり希望を紡ぐ存在です。一緒に頑張りましょう。(理事 渡邊節子)

今日まで、そしてこれからも

ああすの20才、成人おめでとうございます。早いですね20年が過ぎても初心を大切に、ひとりひとりの利用者様の思いや心の声に寄り添った年月は大きな輪になっていると感じています。「今日まで、そしてこれからも」努力していきたいと思います。

(介護支援専門員 藤原みゆき)

地域の超スーパーヘルパーに

ああす設立時は登録ヘルパー。10周年の時は常勤職員として勤務するようになり、早10年を迎え20周年を迎えることが出来ました。介護保険制度開始から幾たびの改定に斗折蛇行(とせつだこう)しながらも、医療、看護と連携し職員力を合わせ乗り越え、利用者に寄り添ってきました。これからも理念に沿って住み慣れた地域で安心して生活出来るよう、高齢者と寄り添っていけるようああすは務めていきます。私は地域の超スーパーヘルパーになります。(介護部長 藤原久美子)



家族のように親友のように

ああすは、いい意味でアットホームな所。ひとりの悩みは皆の悩み。時に家族のように時に親友のように、皆が皆の心配をする……だから20年もいけるんだろうな……

(介護支援専門員 藤本浩子)

必要なことが提供できるように

もう20年も活動された様ですが、私はまだ短く、ほんの少ししかお手伝いできてお

りません事を申し訳なく思います。介護職に係わる者として、利用者の立場に立って、必要なとき・必要な事を提供できる様に・・・と思います。特に、その方の精神「心の訴え」等をよみとれればと心がけています。帰り際に「有難う、また来週もよろしくね」と言われると、やっぱりはげみになります。

微力ではありますが、自己の健康に気をつけ、可能な限りお手伝いさせて頂ければ有り難いと思っております。今後とも宜しく願い申し上げます。

(訪問介護員 木田敬子)

頭の下がる思い

会員としては創立時から、監事として参加して、その後事務局長の大任を任され、昨年10年の役員表彰をいただきました。

振り返れば10周年の際は、共和会の通所介護の事務長としてお祝いのメッセージを送らせていただきました。



介護保険制度の矛盾は今でも大きくは変わりませんが、制度の変遷の中で、現場の介護員の皆さんが、工夫と努力の中で利用者を支え続けているのには本当に頭の下がる思いです。

制度はどうなろうと、高齢者の暮らしを支える仕事に終わりはありません。わたしも微力ながら一緒に仕事を続けさせていただきたいと思っております。

(事務局長 村上次郎)

介護はロボットでなく人間に

法人設立20周年おめでとうございます。介護保険制度がはじまって20年です。介護報酬改定のたびに引き下げられ、慢性的な人手不足は止まりません。自立支援に軸足を置く事がキーワードに出されてきました。ヘルパーの質の向上に、ああすで学習会が定期的に行われてきて参加できた事は、私にとって新しい発見でした。



10年後はどうなるのでしょうか？介護ロボット・IT産業の導入でコミュニケーションをとりながら生活援助が解決されるのでしょうか、疑問をもっています。私は、介護される側になった時に、入浴、排泄介助はロボットでなく人間にしてほしいと願っています。起き上がり、車椅子移乗はロボットでがまんする事にします。

(訪問介護員 近田松子)

地域に慣れていきたい

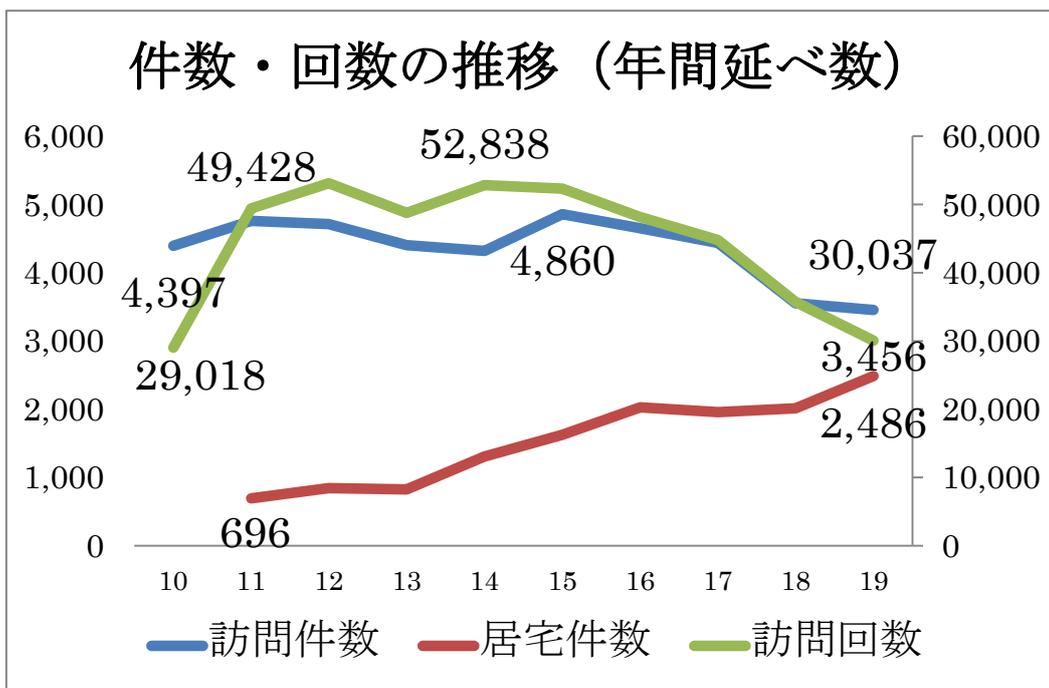
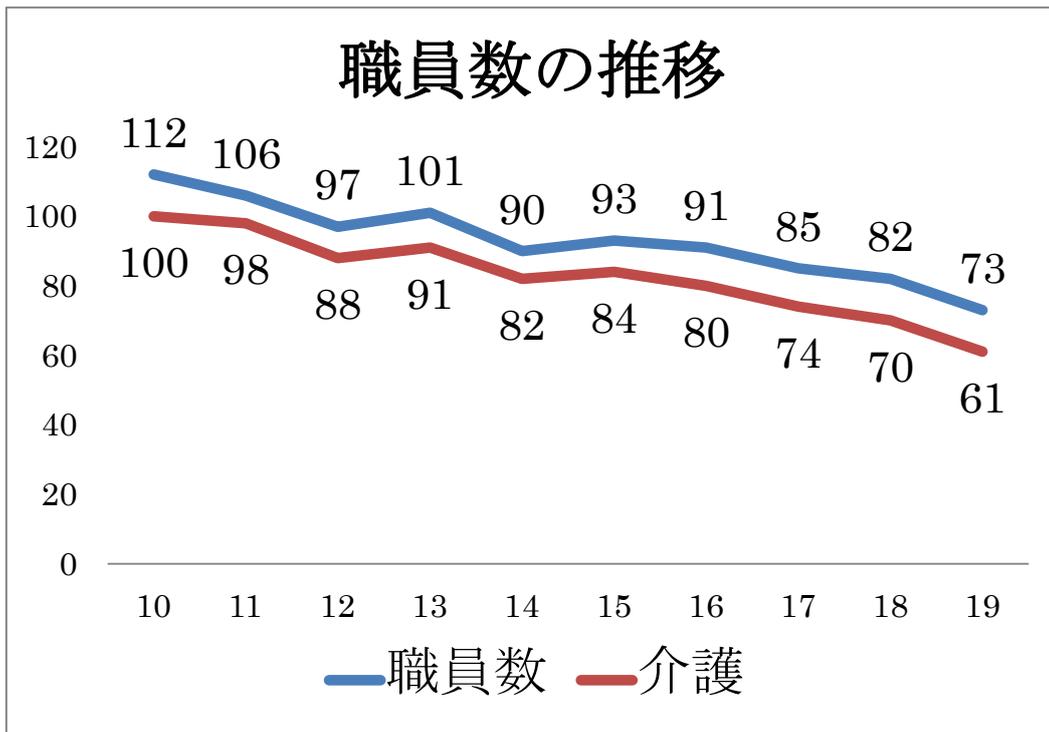
ああす灘に入職して1年半で、ああすこうなんに統合移転することになりました。東灘の社会資源等はよく解りませんが、こうなんの職員さんに教えて頂きながら、東灘のCMとして慣れていきたいと思っております。(介護支援専門員 山田和美)

これからも力を合わせて

ああす創立 20 周年おめでとうございます。地域での支えあいを、この先も続けられるように、力を合わせて頑張りたいと思います。予想もしない事が起きる昨今ですが、ひとつひとつ乗り越えていきましょう。(介護員 塩谷隆三)



NPO ああす 事業の推移(2010年～)





わたしたちは、ここにいます！

地域密着の事業所として、利用者みなさまが快適な日常生活が送れるよう、安全で安心できる質の高い介護支援をさせていただきます。
遠慮なく、いつでも、お気軽にご相談ください。

特定非営利活動法人 地域福祉会ああす

〒658-0051
神戸市東灘区住吉本町1丁目1-32

5階	居宅介護支援 ああすこうなん	居宅支援 ☎ 078-843-6860 📠 078-843-6861
4階	特定非営利活動法人 地域福祉会ああす	本部 ☎ 078-845-2520 📠 078-845-2521
3階	ヘルパーステーション ああすこうなん	訪問介護 ☎ 078-845-8680 📠 078-845-8684
2階	地域支援事業推進室 地域福祉会ああす	☎ 078-845-2520



ヘルパーステーション ああす

〒650-0011
神戸市中央区下山手通9丁目3-15
※ 神戸高速鉄道東西線『西元町駅』より徒歩10分

訪問介護
☎ 078-367-9101
FAX(共通)
📠 078-367-9102
※ 訪問介護 事業所番号：285102093



お気軽に
ご相談ください！

介護に関するお悩みや不安は
地域福祉会ああすに、お気軽にご相談ください。

電話での相談・お問合わせ
☎ 078-845-2520
月曜～金曜 8:30～17:00 土曜 8:30～12:00

メールフォームでの相談・お問合わせ
メールの場合は時間を要する場合がございますので、
お急ぎの方はお電話にてお問合わせください
メールフォームはこちら

よくある質問
お問合わせの多い質問を載せています。
こちらもあわせてご確認ください
よくある質問はこちら

地域福祉ああす略年表(2010年～2020年)

2010年(平成22年)

法人の動き	医療・介護・福祉の動き	政治・経済・社会の動き
2月 全体学習会「事例発表会」5演題28名	7月 ホスピス市民講座「人生の最期を自宅で過ごす」 原水禁世界大会社行会 葺合南「盆踊り」	1月 沖縄県名護市長に「辺野古新吉反対」の稲嶺進氏が当選
5月 こうなん所長代行に山口飛鳥氏任命 第14回通常総会(144名)	8月 東灘「盆踊り」 生田「盆踊り」	2月 横綱朝青龍が引退
6月 10周年記念レセプション(110名) 全体学習会「食中毒・感染症」	9月 「強化月間」ダッシュ集会 北神事業推進委員会 四社「合同管理会議」	4月 チリ沖地震の影響で岩手県、高知県で120cmの津波観測
7月 利用者アンケート実施(回答242名) 移送事業再検討会議開催 こうなん事務所引越(本山中町4へ) 全体学習会「AEDの使いこなそう」	10月 看護を良くする会全国集会 民医連「看護・介護交流集会」 兵庫民医連「看護総会」	5月 宮崎県で「口蹄疫」流行 大相撲・野球賭博問題発覚
8月 介護部長交代 伊藤米美氏から藤原みゆき氏に こうなん開所式 灘・介護保険実地指導 第16期ヘルパー養成講座修了式(17名)		6月 鳩山由紀夫総理大臣辞職。後任に菅直人氏
10月 認知症予防講演会「地域みんなで取りこむ認知症予防活動」(竹田伸也先生) 2010年度上半期経営検討会		7月 参議院選挙投票日
12月 第17期ヘルパー養成講座修了式(5名)		8月 原水禁世界大会(広島) 日本のGDP中国に抜かれ世界第3位に
		9月 尖閣諸島沖で中国漁船と海上保安庁の監視艇が衝突
		10月 岸根栄一、鈴木章氏が日本人初2人同時にノーベル化学賞受賞 大相撲で白鳳が歴代2位となる63連勝達成 関西広域連合が発足
		12月 今年の漢字に「暑」が選ばれる

2011年(平成23年)

1月 移送事業再検討プロジェクト会議 第2回事例発表会(7演題・37名)	1月 四社「新春学習会」(212名) 子ども手当増額を閣議決定 (月13,000円から月20,000円に)	1月 阪神淡路大震災メモリアルデー タレントの間寛平氏が世界一周アースマラソン完走
2月 経営検討会「2010年度決算見込」	2月 東神戸医療互助組合「囲碁将棋大会」	宮崎県、鹿児島県、大分県、愛知県など鳥インフルエンザ流行
3月 東日本大震災復興支援(藤原みゆき、塩谷隆三、他) 移送サービス事業休止 2011年度予算検討会を拡大理事会として開催(18名)	3月 兵庫民医連「学術運動交流集会」 四社「合同管理会議」 「ふきあいの郷」地鎮祭(150名) 共和会「社員総会評議員会」 介護保険制度改正(処遇改善交付金開始)	2月 大相撲八百長問題で63年ぶりに春場所が中止に
4月 定年延長(60才から65才に)。賃金算定期間・支給日の変更(期間:月初～月末、支給:翌月25日) 神戸東労基署「現地調査」・36協定の締結・健診結果の個別指導	5月 共和会「社員総会評議員会」	3月 東日本大震災・原発事故(犠牲者15,281人、行方不明8,492名) 神戸港「非核神戸方式記念集会」
5月 本部事務局移転(あじさいから吉田マンションへ) 第15回通常総会・染谷穰治事務局長退任、山本智文事務局長就任	6月 東神戸医療互助組合「定期総会」 四社「合同職責者会議」	4月 統一地方選挙投票日(きだ結氏当選)
6月 介護事業推進プロジェクト発足	11月 健康まつり ふきあいの郷開所式・祝賀会	5月 全ての原発が運転停止に
7月 大澤良子サービス提供責任者に 全体学習会「高次脳機能障害」(39名) 倉庫移転(葺合から東灘区住吉南町)		6月 地方議員年金制度廃止
8月 第18期ヘルパー養成講座修了式(19名)		7月 小笠原諸島が世界遺産に登録 国民平和行進(10日まで) FIFAワールドカップドイツ大会でなでしこジャパンが優勝 日本の地上アナログテレビ放送が地デジへ完全移行
9月 渡邊順子サービス提供責任者に任命		8月 ニューヨーク株式市場で634ドル急落、円高加速1ドル75円に
10月 ああす全体学習会「放射線とは、自然に、人に」(講師・北岡浩氏) 認知症予防講演会「アルツハイマー病の治療はどこまで進んだか」(370人山本泰司先生)		9月 菅直人総理大臣の辞職を受け野田佳彦内閣が発足
11月 上半期経営検討会(20名) ヘルパーステーションああす中央「ふきあいの郷」に移転		12月 朝鮮民主主義人民共和国の金正日総書記が死去



2012年(平成24年)

1月 第3回事例検討会(5演題・29名)	4月 介護保険制度改正(処遇改善交付金が増加に変更)介護報酬実質0.8%マイナス	1月 内山晃氏他9名の民主党離党者で「新党さすな」旗揚げ
2月 2012年度予算検討会「介護報酬改定の意図するもの」藤原みゆき介護部長	5月 共和会・看護・介護事例実践交流会(11時例・100名)	2月 河村たかし名古屋市長が南京事件否定発言、中国で反対運動 自立式鉄塔として世界一の東京スカイツリー竣工(634m)
3月 第19期ヘルパー養成講座修了式(13名)	6月 社会保障と税の一体改革に関する3党合意(自民、公明、民主)	3月 ロシア大統領選挙でプーチン氏が当選
4月 中央所長に山口飛鳥。こうなん所長に塩谷隆三。林田真実サービス提供責任者に。	8月 原水爆禁止世界大会社行会(40名)	4月 金正恩氏が朝鮮労働党第1書記に
5月 第16回通常総会(124名)山内悦子理事退任。塩谷隆三氏理事に就任。法改正		

法人の動き

- に伴う定款変更を行った。
いのちと暮らし守れ怒りの国民集会(明治公園・2.4万人)(石井理事)
- 7月 第20期ヘルパー養成講座開講
「さよなら原発10万人集会」(代々木公園・17万人)(竜田副理事長・長谷川所長)
全体学習会「権利擁護・虐待防止」(28名)
- 8月 原水爆禁止世界大会・広島に山口所長参加
第1回フォローアップ研修
理事会学習会「民医連綱領について」
藤末衛全日本民医連会長
- 10月 準職員の正職員への移行実施(19名中15名が正職員に)
ヘルパーステーションああす灘に「居宅介護支援事業所」併設
第20期ヘルパー養成講座修了式(12名)
ヘルパー養成講座修了者同窓会(36名)
認知症予防講演会「アルツハイマー病は予防できるか」(285人・山田達夫先生)
- 11月 全体学習会「認知症について」千古吉孝医師
- 12月 全体学習会「痰吸引」(東神戸病院呼吸器研究会)
上半期経営検討会(26名)・記念学習
「白川台での小規模多機能事業のとりくみ」(俵積田君枝施設長)



医療・介護・福祉の動き

政治・経済・社会の動き

- 福島第1原発1〜4号機の廃炉決定
- 5月 北海道電力泊発電所が運転停止
1970年以來42年ぶりに日本の原子力発電所の発電量がゼロに
日本を含む北太平洋で金環日食を観測
- 6月 オウム真理教事件逃走犯の菊池直子容疑者逮捕
- 7月 食品衛生法で生の牛レバー(レバ刺し)の提供禁止
電力不足情報流れる、クールビズ開始
小沢一郎氏を代表とする新党「国民の生活が第一」結成
オウム逃亡犯最後の一人高橋克也容疑者逮捕
オスプレイの岩国基地配備
- 8月 韓国の李明博大統領が大統領として初めて竹島に上陸
- 9月 政府は尖閣諸島を20億5千万円で購入し国有化
原子力規制委員会発足
- 10月 京都大学、山中伸弥教授が日本人として25年ぶり史上2人目となるノーベル生理学・医学賞受賞
レスリングの吉田沙保里氏が国民栄誉賞
- 11月 石原慎太郎、平沼赳夫らが「太陽の党」結成
- 12月 第46回総選挙で自民党が安定多数(269議席)を獲得
第2次安倍内閣発足
今年の漢字「金」

2013年(平成25年)

- 1月 ヘルパーステーションああす灘・移転(2階から1階へ)
- 2月 フォローアップ研修「対人援助者に求められる価値と倫理」稲松真人先生
- 5月 第17回通常総会(96名/175名)退任理事・山本智文(事務局長)、一井光義。新任理事・村上次郎(事務局長)、大江幸子、吉野寛子、新監事に阪森勇二。すみよし・こうなん合同学習会「質の高いケアを目指して」兼平勝子氏を迎えて
- 6月 第4回事例検討会(5演題)
全体学習会「食品衛生と介護職について」甲斐千穂氏
- 7月 全体学習会「高齢者虐待と人権擁護」稲松真人氏(3回159名)
- 8月 馬詰牧子ヘルパーステーションああすこうなん所長に任命。
原水爆禁止世界大会・長崎へ栗原ひとみケアマネが参加
フォローアップ研修「居宅介護計画とは」稲松真人氏
- 9月 塩谷隆三こうなんから灘に異動(所長)
森田知雅子サービス提供責任者に
第21期ヘルパー養成講座修了式
- 10月 共和会60周年記念・赤ひげ公演

- 4月 2001年から段階的に引き上げられた厚生年金の定額部分における男性の支給開始年齢が65歳に
- 6月 全日本民医連「第2回在宅医療・介護交流集会」(村上事務局長)
- 7月 原水爆禁止世界大会壮行会
- 8月 全日本民医連「管理者研修」(藤原久美子介護部長)
- 10月 生活保護受給者のジェネリック医薬品の使用が原則義務化
- 11月 「自立」「家族支援」など盛り込んだ生活保護法「水際作戦」法成立



- 1月 復興特別所得税導入(税額に2.1%上乘せ)
- 3月 交通系ICカード10種類が相互利用可能に
2012年度末の国の借金が1000兆円突破
- 4月 公職選挙法改正でインターネット選挙運動解禁
- 6月 原発ゼロ中央集会(1.8万人) 竜田副理事長、長谷川所長参加
富士山が世界文化遺産に登録
- 7月 宝塚市役所放火事件(5人負傷)
第23回参議院議員選挙で自民党が勝利し衆参ねじれ国会解消
平均寿命で女性が2年ぶりに世界一に(女性86.96才、男性72.29才)
- 8月 沖縄県宜野湾市キャンプハンセンで訓練中の米軍ヘリ墜落事故
楽天イーグルスの田中将大投手が開幕16連勝の日本記録樹立
高知県四万十市で41.0度の観測史上最高気温を記録
福知山花火大会で露天爆発事故(死亡3人、負傷者59人)
- 9月 第125回IOC総会で2020年夏季オリンピック開催都市が東京に決定
- 10月 山本太郎参院議員が福島原発の解決を求める手紙を天皇に手渡す
- 12月 特定秘密保護法案成立
江田憲司氏(みんなの党元幹事長)らが新党「結いの党」結成

2014年(平成26年)

- 4月 小山礼子サービス提供責任者に。塩谷隆三・神戸健康共和会「いりどりの家大

- 1月 日本の理科学研究所あらゆる細胞に分化可能となる新たな万能細胞

- 1月 国家公務員給与の昇給を原則55才でストップさせる給与法の改定

法人の動き

- 池」に出向
第5回事例検討会(5演題)
- 5月 全体学習会「地域福祉会あさず職員
の健康管理・職員健診から」(34名)
第18回通常総会(122名/148名)。退
任役員・塩谷隆三(理事)立石由紀夫
(監事)新任役員・馬詰牧子(理事)中村
明(監事)
- 6月 ヘルパーステーションあさず生田北に
「居宅介護支援事業所」併設
介護事業所訪問(介護署名依頼)
医療・介護総合法案阻止中央集会(村
上事務局長参加)
全体学習会「食中毒予防と在宅での栄
養管理」(31名)
- 7月 全体学習会「権利擁護・虐待防止」
- 8月 原水爆禁止世界大会・広島(共和会関
係9名)
フォローアップ研修
理事会学習会「介護保険ミニ学習」(17
名/19名)
- 9月 新事業プロジェクト・尼崎見学
第2回フォローアップ研修「人が人を理解
するということ?」稲松真人(25名)
神戸市生きがい活動促進事業申請(選外
となる)
「いのちまもる・憲法いかす国民集会」
(日比谷野音・藤原みゆき部長)
- 10月 フォローアップ研修「コミュニケーションに
ついて」
共和会看護介護事例検討会(すみよしから
事例発表)
- 11月 介護の日「介護110番・相談会」(相談2
名・藤原、栗原、山口、村上)
上半期経営検討会(25名)



医療・介護・福祉の動き

- (STAP細胞)生成に成功の発表
- 4月 いろどりの家・大池開所
国民年金保険料引き上げ(15040円
から15250円に)
- 5月 柳筋診療所「在宅患者会」
- 6月 東神戸医療互助組合総代会
医療・介護総合法案強行採決(介護
利用制限、自己負担増など)
共和会・合同職責者会議
- 8月 東灘「盆おどり」
東神戸診療所「盆踊り」
生田診療所「盆踊り」
ふきあいの郷「夜店だほい」
強化月間「ダッシュ集会」
兵庫民医連「地域包括ケア経営検
討会」(共和会関係18名)
- 9月 全日本民医連「共同組織活動交流
集会」(神戸)
認知症予防講演会「認知症の人へ
のケアを考える」小川孝之氏
- 10月 神戸市訪問介護事業所集団指導
灘区居場所「ほおずき」開所
- 11月 ふきあい高齢者まつり(200人)
生田診療所50周年(100名)
ホスピス市民講座
兵庫福祉ネット「居場所づくり事例発
表と相談会」(16団体27名)
「憲法平和学習会」上脇博之氏(32
名、アンケート182通)
東神戸診療所シンポジウム、大石川
診療所シンポジウム
- 12月 もちつき大会(病院、東診、ふきあいの
郷)
兵庫民医連「介護報酬改定セミナー」



政治・経済・社会の動き

- 箱根駅伝第90回記念大会で東洋大
が総合優勝
自衛艦「おおすみ」と釣り船が衝突
釣り船の船長とつり客1名が重体に
- 2月 野球漫画「あぶさん」(水島新司作)
が1973年から41年間の連載を修了
- 3月 「アベノハルカス」完成。地上60階、
高さ300mの日本一高いビルに
岩田晃一氏が日本人初の国際宇宙
ステーション所長に就任
タモリの「笑っていいとも」が放送終
了(1982年から31年半の放送)
- 4月 消費税が5%から8%に引上に
三陸鉄道リアス線の内東日本大震
災で運休していた釜石駅から吉浜
駅間が運行再開。
WindowsXPのサポート終了
- 5月 福井地裁で大飯原発3・4号機の
運転差し止め判決
- 6月 日本経団連会長に榊原定征(東レ
会長)が就任
石原伸晃環境大臣が東日本大震災
の除線廃棄物保管場所について「最
後は金目でしょう」発言。後に関係者
に謝罪
富岡製紙工場と絹産業遺産群が世界
文化遺産に登録
- 7月 辺野古基地建設着工。「集団的自衛
権行使容認」を閣議決定
- 8月 日本維新の会分党、日本維新の会
(橋本側37人)次世代の党(石原側
23人)
広島県北部豪雨災害(死者77人、避
難者904世帯2354人)
- 9月 御嶽山7年ぶりに噴火(50人以上が
死亡)
- 10月 ノーベル物理学賞を赤崎勇・天野浩
・中村修二が受賞
経済産業大臣(小淵優子)法務大臣
(松島みどり)政治資金規正法違反
で辞任
- 11月 沖縄県知事選挙で辺野古基地建設
反対の翁長雄志氏が当選
- 12月 第47回総選挙、自民・公明で326議
席(定数475議席)
リニア中央新幹線が着工
東京駅開業100周年
第3次安倍内閣発足
今年の漢字「税」

2015年(平成27年)

- 1月 高齢者の居場所「やえちゃんち」・外出
支援事業開始
- 2月 ヘルパーステーション灘所長代行に渡邊
順子氏を任命
ふきあいの郷で実地指導。虐待防止研
修欠席者への対応などの指導
- 4月 利用者アンケート(回収203/309)。マイ
カー手当の支給開始。成田伊智子ケア
マネ主任に昇格
第6回事例検討会(5事例39名)
職員育成委員会発足
- 5月 第19回通常総会(119名/150名)退任
役員・岩崎政己(理事)秋本広子(監事)
阪森勇二(監事)。新任役員・阪森勇二
(理事)渡辺順子(理事)岩崎政己(監事)
- 6月 全体学習会「高齢者の食と健康」(26名)
マイナンバー実務研修(村上、青柿)
- 7月 こうなんに居宅支援事業所併設
- 1月 住吉巡回医療介護連携会議
共和会「新春のつどい」(216名)
駒どりの郷起工式(80名)
東神戸病院メモリアルデー(73名)
生田診療所「もちつき大会」
大石川診療所「もちつき大会」
- 2月 東神戸医療互助組合「囲碁将棋大
会」
バレンタインデー行動(17名)
東灘在宅フォーラム(74名)
- 3月 辺野古支援報告会(35名)
兵庫民医連「学術運動交流集会」
「青ひげ先生の聴診器」上演
神戸健康共和会社員総会評議員会
- 4月 介護報酬改定(△2.27%)。特養入所
基準を要介護3以上に厳格化。地域
総合支援事業開始
- 5月 やなしん在宅患者会
- 1月 城崎温泉で全焼8棟を含む19棟に延
焼する火災発生(2人死亡60人が避
難)
ISILによる日本人拘束事件発生
阪神淡路大震災20年メモリアル
- 3月 東灘9条の会6周年「街場の戦争論」
内田樹氏(450名)
東日本大震災メモリアルデー
寝台特急トワイライトエクスプレスが
運行修了
北陸新幹線の長野駅～金沢駅間開
通 約2時間20分で結ばれる
バルド国立博物館をイスラム過激派
が襲撃、日本人3人を含む23人が死
亡
- 4月 統一地方選挙投票日(きだ結氏再選)
首相官邸屋上で墜落ドローン発見
- 5月 NPT再検討会議(ニューヨーク/津

法人の動き

- 全体学習会「虐待防止・人権擁護」(4回93名)
- 共産党兵庫県議員団学習会(藤原みゆき部長)
- 「どうなる兵庫の医療・介護」(藤原みゆき介護部長シンポジスト)
- 8月 全日本民医連「包括ケア学習討論会」(細谷理事長)
- 原水爆禁止世界大会・長崎に村上事務局長参加
- 全体学習会「虐待防止・権利擁護」
- 本部事務局改装工事(2階事務所を1部屋に)
- 9月 全体学習会「マイナンバーについて」(村上事務局長)
- フォローアップ研修「介護職の職業倫理・対人援助の倫理を考える」稲松正人氏(2回31名)
- 10月 山下マキ・サービス提供責任者に任命
- 11月 介護副部長に藤原久美子氏(すみよし所長兼務)
- 上半期経営検討会(28名)
- フォローアップ研修「対人援助の基本・虐待について考える」稲松真人氏(29名)
- 12月 ルミナリエ・ハートフルデー
- こうなん実地指導(神戸市)

医療・介護・福祉の動き

- 兵庫民医連臨時総会
- 四社「憲法学習会」(吉江仁子弁護士)
- 神戸健康共和会社員総会評議員会
- うらい洋先生お別れ会(400人)
- 6月 野の花サロン・オープン
- 全日本民医連医療介護倫理交流会(藤原部長)
- 東神戸医療互助組合総代会(250名)
- こぶしの会(東灘他職種連携交流会)
- 兵庫民医連「ケアマネ連絡会総会
- 7月 さくら塾(灘区他職種連携交流会)
- 東灘区社保協第16回総会
- 原水爆禁止世界大会壮行会(53名)
- NPT再検討会議報告会(33名)
- 認知症予防ネット神戸5周年記念集会
- 8月 東灘盆おどり(900名)
- 生田盆おどり(400名)
- ふきあいの郷「夜店だほい」(150名)
- 原水爆禁止世界大会報告会(36名)
- 9月 強化月間ダッシュ集会(74名)
- 10月 認知症予防講演会「ボケてたまるか」(山本朋史氏)
- 11月 健康まつり(雨天にて中止)
- ホスピス市民講座(180名)
- 12月 もちつき大会(病院、東診、ふきあいの郷)

政治・経済・社会の動き

- 川計子氏、川崎総氏、成山昌子氏参加)
- 自由と民主主義のための緊急行動(SEALS)発足
- 大阪都構想の是非を問う住民投票実施(反対多数で否決)
- 6月 選挙権の年齢を20才以上から18才以上に引き下げる公職選挙法改正
- 「集団的自衛権行使容認・秘密保護法反対」兵庫県民集会(9000名)
- 7月 閏秒が適用され日本標準時で8時59分59秒のあとに8時59分60秒が追加された。
- 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のユネスコ世界遺産一覧表記載が決定
- 安倍首相が国立競技場計画の白紙撤回を発表
- 8月 戦争法廃止東灘パレード(33名/100名)
- 戦争法反対兵庫県民集会(4000名)
- 戦争法反対中央集会(12万名)
- 9月 2020東京オリンピック・パラリンピックのエンブレム使用中止の方針固まる
- 関東・東北豪雨により2万棟以上が損壊浸水14人の死者が出た
- ラグビーワールドカップイングランド大会で過去2回の優勝を誇る南アフリカに日本代表が逆転勝利(ブライトンの奇蹟と称される)
- 安全保障関連法案成立
- 10月 マイナンバーの通知始まる。
- 翁長雄志沖縄県知事が名護市辺野古沿岸埋め立て承認の取り消しを正式決定
- 東灘9条の会「石川康弘講演会」(70名)
- 11月 兵庫県高齢者大会(540名)
- 12月 マイナンバー運用開始
- 今年の漢字「安」



2016年(平成28年)

- 1月 理事会学習会「介護予防日常生活支援総合事業について」村上事務局長(14名)
- 労基署調査
- 全体学習会「AEDを使いこなそう」島田尚哉氏
- 4月 ヘルパーステーションあすこうなんとすみよし統合
- 第7回事例検討会「認知症があり支援困難な〇様のケアを振り返って」
- 5月 松田泰美・サービス提供責任者に任命
- パソコンマスター研修スタート(8月まで)
- 第20回通常総会
- 6月 介護部長交代
- 藤原みゆき氏から藤原久美子氏へ
- 7月 全体学習会「高齢者・障がい者の権利擁護・虐待防止」(3回/86名)
- 8月 原水爆禁止世界大会(広島/成田ケアマネ参加)
- 9月 堀江恵美・サービス提供責任者に任命
- 11月 沖本章子・介護副部長に任命

- 1月 新春のつどい「一億総老後破壊の衝撃と日本国憲法の価値」藤田孝典氏(252名)
- 生田もちつき大会
- 障がい福祉サービス集団指導
- 大石川診療所・もちつき大会
- 2月 兵庫民医連学術運動交流集会「戦後70年沖縄のたたかいかから学ぶもの」渡久地修氏
- 3月 こまどりの郷竣工式
- 8月 原水爆禁止世界大会報告集会



- 1月 東灘9条の会「医療から見た昭和史に真実」川島龍一氏
- 軽井沢スキーバス転落事故(15名死亡、26人負傷)
- 国産初のステルス戦闘機「X-2」が初公開
- 2月 日本が環太平洋戦略的連携協定に署名
- 3月 北海道新幹線、青森駅～新函館駅間が開通し、北海道から九州まで新幹線で結ばれる
- 4月 東灘9条の会10周年集会小林節氏
- 熊本地震発生(M6.5)16日にはM7.3を記録
- 新名神高速道路工事で有馬川橋橋梁落下事故(2名死亡)
- 5月 米国オバマ大統領が米国大統領としては初めて広島を訪問
- 7月 イスラム過激派組織によるレストラン襲撃事件で日本人7人が死亡
- 国立西洋美術館が世界遺産に登録(国内の世界遺産20件となる)
- 相模原障害者施設殺傷事件発生(19人が死亡、26人が負傷)
- 8月 国民祝日法改正で8月11日が「山の日」となる
- 9月 藤井聡太が14才2ヵ月でプロ棋士になり、加藤一二三九段の持つ記録を

法人の動き

医療・介護・福祉の動き

政治・経済・社会の動き



62年ぶりに更新

- 10月 ノーベル生理学・医学賞を大隅良典が受賞
- 11月 113番元素の名称「ニホニウム(Nh)」に正式決定
- 12月 在日米軍基地所属のMV-22オスプレイが名護市安部の沿岸で墜落事故
統合型リゾート推進法が自民党や維新の会などの賛成多数で衆院で可決
アイドルグループ「SMAP」解散
今年の漢字「金」

2017年(平成29年)

- 1月 第21回臨時総会／生活支援総合事業開始に伴う定款の一部変更
- 3月 全体学習会「認知症を学び地域でささえよう！」(2回／30名)
- 4月 サ責フォローアップ研修「介護予防・日常生活支援総合事業」(3回17名)
第8回事例検討会(5演題／34名)
- 5月 竜田副理事長ご逝去
第22回通常総会／退任役員・石井俊三(理事)阪森勇二(理事)吉野寛子(理事)新任役員・沖本章子(理事)山本智文(理事)／定款の一部変更(事業の種類など)
全体学習会「食中毒・感染予防」(21名)
サ責フォローアップ研修「介護保険制度の基本」(8名)
- 6月 全体学習会「在宅での看取り」(31名)
- 7月 塩谷隆三(いづれの家大池への出向終了)
サ責フォローアップ研修(7名)
やえちゃんちスペシャル
- 8月 原水爆禁止世界大会(長崎／塩谷氏参加)
上半期経営検討会
全体学習会「権利擁護と虐待防止」(3回 全員参加)
- 9月 全体学習会「あなたは使える？AED」(2回／29名)
- 11月 竜田副理事長を偲ぶ会(17名)
上半期経営検討会(22名)
やえちゃんちスペシャル
- 12月 全体学習会「笑いヨガ」
ルミナリエ鑑賞

- 1月 新春学習会「憲法が守る！医療・介護・小田原市役所で職員が生活保護不正支給反対を掲げたジャンパー着用在発覚
- 2月 兵庫民医連「学術運動交流集会」
- 4月 介護保険制度臨時改定(処遇改善加算+1.14%)
- 7月 神戸健康共和会合同職責者会議
無差別平等の医療・介護を目指して
- 8月 東灘盆踊り
- 9月 認知症予防講演会「認知症と共に暮らせる社会」
共和会・竜田先生を偲ぶ会(50名)
- 11月 健康まつり(1,000人)
ふきあいの郷「もちつき」

- 1月 豊洲市場の地下水モニタリング調査で、環境基準を超える有害物質「ベンゼン」が検出され開業延期。
加計学園岡山理科大学に国内52年ぶりの獣医学部新設が決定。
- 3月 特許庁は色と色を組み合わせた「色彩」を商品登録すると発表。セブンイレブンの看板、トンボ鉛筆の消しゴムカバの2つが登録。
稀勢の里が横綱昇進。日本人として
- 4月 辺野古新吉の埋め立て工事着工
- 5月 明治製菓がスナック菓子「カール」の販売を中部地方伊藤で終了すると発表
- 6月 札幌地裁で「LGBT」カップルを公的に認める「パートナーシップ制度」を開始。政令都市では初
将棋の最高齢棋士の加藤一二三九段が引退発表(棋士生活62年10月)
- 8月 公的年金支給に必要な加入期間が25年から10年に短縮され新たに68万人が受給者に
- 9月 日本年金機構のシステム不備等で10万6千人・598億円の支給漏れ
上野動物園で誕生したジャイアントパンダに「シャンシャン」と命名
- 10月 神戸製鋼が品質データを改ざんし基準に満たない製品を出荷したことが発覚
- 12月 今年の漢字「北」



2018年(平成30年)

- 2月 憲法9条改憲許さない3000万署名行動(JR住吉駅90筆)
管理者・サ責研修「指導力について」
- 3月 神戸健康共和会「介護事例発表会」／あさす生田から事例発表
- 4月 生田お花見(25名)
灘お花見(90名)
事例検討会「ネグレクトを疑われた介護者に寄り添い支えて」(27名)
- 5月 ランチョン学習会開始
第23回通常総会(定款の一部変更(役員任期、広告の方法など)
全体学習会「食中毒・感染予防」(2回 58名)
- 6月 全体学習会「在宅での食支援に向けて」(33名)
あさす中央に労基署調査。衛生・安全推進者の選任、KY活動、健診・心の健康づくり、等の指導
諸規定見直しに着手・社会保険労務士

- 1月 新春のついで「沖縄から見えるこの国の未来」座波政美氏／沖縄民医連会長
- 2月 兵庫県社保協「ひょうご25条集会」(85名)
第1回「東灘区在宅医療・介護市民フォーラム」(200名)
- 3月 介護保険神戸市集団指導
東神戸病院「HPH活動1周年」
- 4月 診療報酬(0.55%)介護報酬(0.54%)同時改定
東神戸病院「第8回学術運動交流集会」
- 6月 東神戸医療互助組合第42回総代会(229名)
- 8月 東灘盆踊り(1000名)
- 9月 神戸健康共和会「平和フォーラム」(小林愛子氏を迎えて／38名)
- 10月 憲法・いのち社会保障を守る国民集会(東京 3,700名)
- 11月 介護の日「認知症について考える・

- 1月 「はれのひ」が突然閉鎖。数百人が晴れ着ら着られなくなる
- 2月 平昌冬季オリンピック開幕
- 3月 森友学園問題で虚偽答弁を繰り返した佐川国税庁長官が辞任
原子力規制委員会が高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉を認可
- 4月 2017年2月に稲田朋美大臣が不在とした「イラク派遣の自衛隊日報」が見つかる。
- 5月 兵庫県憲法集会(9000人)
民進党と希望の党が合流し「国民民主党」結成
ソフトバンクホークスの内川聖一が史上51人目の2000安打達成。
映画「万引き家族」が第71回カンヌ映画祭で、最高賞の「パルム・ドール」を受賞
- 6月 大阪府北部でM6.1の地震発生。死者4人負傷者400人超

法人の動き

- 健康まつりに「高齢者疑似体験コーナー」出店(19名が体験)
- やえちやんちスペシャル「お好みパーティー」(25名)
- 上半期経営検討会(役員・管理・職責者19名)
- 「秋を食べようかい」(10名)
- 12月 2019「ルミナリエ」(12名)
- 管理者・職責者会議「相手の力を引き出すコーチング」



医療・介護・福祉の動き



政治・経済・社会の動き

- 36名が死亡
- 第25回参議院議員選挙投票。与党と維新の会が2/3を割る。野党統一候補が32の1人区で11の議席獲得
- 8月 河村名古屋市長などの抗議によって「あいとりエンナーレ」の企画展示が中止となる
- 9月 台風15号が関東地方に上陸。千葉県を中心に被害
- ラグビーワールドカップ2019が日本で開幕。南アフリカが3大会ぶりに優勝。日本は初のベストエイトに進んだ
- 10月 消費税引上実施(8%から10%)
- 台風19号が伊豆半島に上陸。雨量風速が観測史上最高を記録
- 沖縄県の世界遺産「首里城」で火災発生。正殿と北殿、南殿など主要な建物が全焼した
- 12月 今年の漢字「令」

2020年(令和2年)

- 1月 四社合同「新春のつどい」
- 2月 非常勤職員の75歳定年制新設(2021年度より実施)
- 管理者・サービス提供責任者研修～モニタリング・アセスメントについて～(11名)
- 事務所移転準備開始(施設・設備、他)事業所予算ヒアリング実施
- 東灘区居場所まつり
- 3月 新型コロナウイルス対応・第1弾発表
- 本部事務所、こうなん、灘の事務所移転(東灘区住吉本町1-1-32)
- 4月 第8回地域支援事業推進会議「新事務所1階の活用法などについて協議」
- 法人が指定する時間外の会議手当を時給に変更
- 4月 こうなんと灘の統合「ヘルパーステーションあすこうなん」に
- 居宅介護支援事業コロナ対策で「在宅勤務」実施



- 5月 第25回通常総会
- 新事務所各階に消火器の設置
- 新事務所外壁塗装(家主が実施)
- 2019年度監事会開催
- 6月 新事務所「消防点検」用途変更・防火設備など指摘
- 7月 「多目的ルーム使用規定」策定
- 国民平和大行進参加
- 夏期賞与支給
- 8月 あすこうなんの所長交代。馬詰牧子所長から森田知雅子所長に
- 第一四半期経営検討会
- 神戸市在宅医療塾(沖本)
- 利用者アンケート実施(回答率48%)
- 新事務所整備(各階に網戸の設置)
- 第5回居場所サミット(オンライン/村上)
- 東灘原水協「高校生が描いた原爆の絵展」(あす多目的ルーム)
- 9月 全体学習会「権利擁護と虐待防止」講師：稲松真人氏(62名)

- 2月 新型コロナウイルスによる感染症を「指定感染症」に指定
- 四社「国保アンケート」実施
- 新型コロナウイルス感染症で神奈川県に住む女性が死亡。日本で初
- 兵庫民医連「学術運動交流集会」
- 認知症予防講演会「回想法」(鈴木正典先生・出雲市民病院)
- 3月 参院で新型コロナウイルス感染症を新型インフルエンザ等対策特別措置法の対象に加える法改正が成立
- 21年度介護報酬改定に向け「介護給付費分科会の議論始まる
- 神戸健康共和会第104回社員総会・評議員会
- 認知症予防講演会「認知症になりにくい街とは」近藤克則先生・千葉大学
- 4月 診療報酬改定
- 改正健康増進法の施行で一定基準以上の飲食店が全面禁煙に
- 労働者派遣法及びパートタイム・有期雇用労働法改正法が施行され「同一労働同一賃金」が大企業の義務に
- 新型コロナウイルス感染拡大で「緊急事態宣言」が発令される
- 5月 新型コロナウイルス感染症の治療薬として抗ウイルス薬「レムデシビル」が承認される
- 新型コロナウイルスに伴う「緊急事態宣言」が解除に
- 神戸健康共和会第105回社員総会・評議員会
- 5月 四社「コロナ禍における聴きとり調査」
- 6月 東神戸医療互助組合第44回総代会
- 全日本民医連「2019年手遅れ事例」発表(51事例)
- 7月 厚労省がコロナ対応慰労金をすべての医療・介護従事者に支給決定
- あずみの里裁判で逆転無罪判決(東



- 1月 尖閣諸島沖で中国海警局の4船領海を航行
- 最後の大学入試センター試験。2022年より大学入学共通テストに移行
- 政府は検察官に適用されないとしてきた定年延長の法解釈変更を閣議決定
- 2月 世界最高齢男性の渡邊智哲さんが死去(112歳355日)
- 3月 東日本大震災・原発事故で不通となっていた常磐線が全区間運転再開
- 森友学園問題で「公文書改ざん」強要を苦に自殺した職員の手記を遺族が公表
- 新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期を決定
- タレントの志村けんが新型コロナウイルス感染症で死去
- 5月 日本高野連が、夏の全国高等学校野球選手権の中止を決定
- 京都アニメーション放火事件で、さいたま市に住む42歳男性逮捕
- 6月 第25回参議院議員選挙で、地方議員買収の疑いで前法相の河井克行衆院議員と妻の案里参院議員を逮捕
- 7月 改正容器包装リサイクル法の施行により小売店でレジ袋の有料化
- 関東・東海地方で火球が目撃され、千葉県習志野市のマンションで発見された破片が隕石と判明
- 梅雨前線の発達に伴う豪雨災害が全国に広がる
- 「GOTOキャンペーン」が始まる
- 8月 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の依頼を受けて殺害した医師2人を囑託殺人罪で起訴
- 静岡県浜松市で41.1℃の今期最高気温を記録
- プロ棋士の藤井聡太が棋聖と王位の二冠となり最年少記録で八段となる
- 安倍晋三首相の連続在任期間が歴代最長の2799日となる
- 遊園地の「としまえん」が94年の歴史に幕
- 9月 「マイナポイント事業」開始
- JR東日本が2021年ダイヤ改正で終電時間を30分繰り上げることを発表

法人の動き

- 対策会議(山口所長)
 居住支援研修会～住まいと福祉の協働
 をめざして～(村上)
 障がい保険請求ソフト保守サービス更新
 コロナ対策で多目的ルームに「次亜塩素
 酸空間除菌脱臭機設置
 第1回趣味の作品展(多目的ルーム)
 事業所相互チェック実施(サ責会議)
 10月 四社「大阪都構想」住民投票支援(村上)
 11月 上半期経営検討会
 住良本町ネットワーク「クイズラリー」
 (25名)



医療・介護・福祉の動き

- 8月 原水爆禁止世界大会「民医連平和ウ
 ェーブ」オンライン交流会
 厚労省は要介護者も総合事業対象に
 する省令改正を目指す方針
 9月 100才以上が8万450人に。兵庫県は
 3397人
 東神戸医療互助組合強化月間スタート
 (10月～11月)
 10月 「いのちを守る医療・社会保障を立て直
 せ10.22総行動」(ウェブ視聴)
 11月 東神戸医療互助組合「ごぼう先生の健
 康体操」



政治・経済・社会の動き

- ト事業を巡る汚職・買収事件で秋元
 司衆院議委員を逮捕
 菅官房長官がテレビ番組で「消費税
 増税」の必要性発言
 第99代総理大臣に菅義偉氏が就任
 東京証券取引所でシステム障害発生
 株式売買が終日停止に
 加藤勝信官房長官が、日本学術会議
 から推薦された105名の内6名の任命
 拒否を発表
 東京都調布市で住宅街の道路が陥没
 し、東京外環道路工の影響の疑い
 菅義偉首相が所信表明演説で2050年
 までに温室効果ガス排出ゼロを宣言
 アパレル大手のレナウンが破産
 11月 大阪都構想の是非を問う住民投票が
 実施され2015年に続き否決された
 格安航空会社エアアジア・ジャパンが
 破産宣告
 アメリカ大統領選挙で民主党のバイデ
 ン氏が勝利
 12月 人気アイドルグループ「嵐」活動中止

編集後記

20周年記念事業は「記念レセプション」と「記念誌の発行」を中心に進めてきましたが、コロナ禍のもとで記念レセプションは中止せざるを得なくなり、残念な思いで一杯です。

残された事業の記念誌をなんとか発行することができホッとしています。7名の慣れない実行委員が、自分たちの手作りであたたかい気持ちを届けられることをコンセプトに作成しました。

“ああす、”が生まれて20年。10周年（2010年）から早10年、年号も「平成」から「令和」へと移り苦楽の中、成人式を迎えた“ああす、”の想いを、この記念誌をとおして皆さまと感あえる事が出来ればうれしく思います。

記念誌の発行にご協力いただいた皆さまに心より感謝いたします。

20周年実行委員会

塩谷 隆三 中島 智代 成田 伊智子 長谷川 歩
細谷 禮三 村上 次郎 渡部 順子